



発行所：みんなで政治を考える会  
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2  
ハウストゥ四条ビル601  
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智  
国会事務所  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館921号室  
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。  
題字：栢木寛照

# えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)  
第3種郵便物認可 平成2年1月18日  
口座 01000-4-62360

平成25年 **4** 月号  
No.254

京都の智恵を日本に活かす。  
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

## 断固、0増5減法案の成立を



党首討論で自信を持って政策を述べる安倍首相

### 全く理解に苦しむ民主党の対応 許されない国会の怠慢

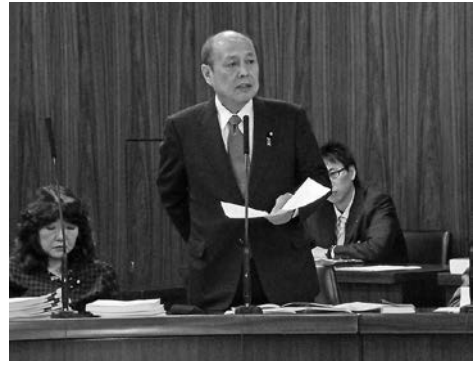
昨年末に実施された総選挙での1票の格差を巡る裁判で、広島をはじめとする高等裁判所で違憲、無効の判決がなされた。政府が今年の11月26日までに格差是正しなければ、最高裁は選挙の無効判決を出すかも知れない。「0増5減法案」は民主党政権時代の昨年11月16日の参議院本会議で可決、成立した。にも拘わらず、政権交代によって、民主党は0増5減法案に基づく自民公明案の「区割り改定法案」に反対し、大幅な定数削減案を突如提案してきた。民主党は裁判所から指摘された格差2倍以上の選挙区の是正をどう考えているのか、全く理解に苦しむ。今やるべきことは、先ず2倍以上の選挙区の格差是正である。0増5減法案の成立、そして次は定数削減、そして最後は抜本的な選挙制度の改革である。国会がいつまでも司法の判断に怠慢であれば、裁判所、国民からも強いシッペ返しを喰らうであろう。

### 恒心

★昨年度から、中学校の体育に武道を取り入れることが義務化された。柔道、剣道、相撲、空手など武道には様々な種目がある。日本の武道は正々堂々と戦うことに意味があり、西洋のスポーツのように反則すれすれで勝ち負けを競うスポーツではない。★しかも武道は長い日本の歴史の中で育まれ、人間の精神、人格を涵養する上に大きな役割を果たしている。武道を履修することとは、伝統と文化を尊重し、わが国と郷土を愛する態度を養うことにも有効であると考えられている。★従って、競技をする人、教える人は日本の歴史、伝統を重んじるのは当然のことである。どのスポーツでも開会式には、国歌斉唱、国旗掲揚が行われる。一同ご起立下さいとアナウンスがあるが、言われるまでもなく、脱帽し、起立するのは国民として、当たり前前儀の儀礼である。★最近少し気になることがある。各種の武道大会に来賓として出席する機会が多いが、開会式での国歌斉唱、国旗掲揚にもかかわらず、平然として殆ど父兄が坐ったままである。意識的に起立しないのか、それとも起立する意味がわからないのか。★父兄は自分の子供たちに、他人を思いやる心、強い精神、逞しい肉体を持つ人間に育って欲しいと思つて、武道を習わせているのだらう。しかし、国民儀礼の際、坐ったままで、国歌も歌わず、国旗に敬意を払わないような親の下で立派な人間が育つわけがない。★指導者には競技を教えるだけでなく、子供と父兄に、何故武道を習うのか、武道の持つ意味、重要性をしっかりと教えないでほしい。武道だけ上達して、人間的に成長しないでは武道を習う意味がない。

## 参議院総務委員会

## 二ノ湯議員質問に立つ



3月26日、参議院総務委員会(松あきら委員長)が開かれ、地方税法の一部を改正する法律案

及び地方交付税法及び特別会計に関する法律案に対する質疑が行われた。自民党の二ノ湯議員は約30分にわたって、最近の地方の課題について、新藤総務大臣に質問をした。質疑の要旨は次の通りである。

## ○二之湯智君

私も全国市議会議長会々長として、地方分権の推進に取り組んで参りました。多くのの方々のご努力のお陰で、地方分権推進一括法が施行され、国と地方は対等、平等の関係になり、地方が自主性を発揮してユニークな町づくり、施策を展開できると言われますが、分権時代にふさわしい自主財源の比率をもっと高めるべきではないか。

## ○国務大臣(新藤義孝君)

地方の自主財源を充実させることが極めて重要だと思います。権限や財源を移譲しながら、地方分権を進め、地方自治の確立に向けて努力をしまいたい。

## ○二之湯智君

国と地方の業務量は地方が3とすれば国は2、しかし税源の配分はその逆だと、言われております。財源の比率を業務量に合った形にしていくべきではないか。

## ○国務大臣(新藤義孝君)

地方分権改革推進委員会にも、国と地方の税源配分は5対5とすることが適当であると、勧告もいただいております。

自らの発想で自らが地域を運営できるような地方税の充実に努力してまいりたい。

## ○二之湯智君

地方の活力なくして日本の経済の再生はないと、これは安倍内閣の大きな方針の一つです。今回の地方税一部改正、地方交付税法が本当に地方の活力をもたらすような内容になっているのか。

## ○国務大臣(新藤義孝君)

地域を活性化させるいろんな計画を更に実効性を上げるために、地域循環型の事業を打ち立てるものに予算措置を致しました。それから、地域で持っている資源と資金をうまく重ね合わせて、民間の知恵も入れた中で地域の自立性を高めるような施策を投入して、少しでも前進できるように取り組んでまいりたい。

## ○二之湯智君

消費税が15年の10月には10%になる。

その時点で地方税である自動車取得税が廃止の方向と税制大綱に書かれています。廃止になると、約200億円の大きな財源が失われます。代替財源を見付けるのは大変だと思いますが。

## ○国務大臣(新藤義孝君)

地方六団体から、具体的な代替財源を明示しないまま自動車取得税廃止の方針が決定されたのは遺憾という意見も頂戴しております。地方の自主性の強化、地方の税財源の確保に努力してまいりたい。

## ○二之湯智君

日本の再生のために消費税を導入する。導入するに当たっては、国民の理解を得る必要がある。全体の奉仕者たる国家公務員、地方公務員が「腕より始める」の精神で先ず範を垂れようと地方公務員への減額要請になったと、私は理解をしております。しかし、新聞報道等で見ると、地方の自主性を損なっている、あるいは地方自治の根幹にかかわる問題について国が干渉し過ぎではないかという印象を多くの国民が持たれたと思えますが。

## ○国務大臣(新藤義孝君)

公務員も含めみんな良くなっていこうという思いの中で要請をさせていただいた。あくまで要請であって、最終的には地方の自主的な判断に委ねられる訳であります。みんなが頑張るといふ目的意識は共有していただけかと期待しております。

## ○二之湯智君

リーマン・ショック以降、地方は歳出削減に大変な努力を積み重ねてこられた。政府は、人件費が、瞬間的に国家公務員よりも地方公務員の方がちよつと突出している。その一点だけ見て、歳出努力が足りないということはやり過ぎではないか。

## ○国務大臣(新藤義孝君)

ですから、これを単なる財政削減の論理だけで終わらせてはいけないと、私は強く思っております。公務員として日本再生のためのきつかけなんだと、このような形で、しかも現実には地域経済に刺激ができるような形のを、工夫をさせていただいたわけでありまして、そこを御理解賜りたいと思っております。

## ○二之湯智君

国家公務員は平成26年まで2年間7.8%の減額ということですね。地方公務員は、大臣のお話にあるように、25年度限りですが、延長をお願いしたいということになるのではないかと不安の声が地方団体からあります。

## ○国務大臣(新藤義孝君)

この臨時特例措置は、これは25年度で、終わるわけでありまして、それに合わせて地方への要請も25年度限りとお願いをさせていただいております。

## ○二之湯智君

安倍内閣は、給与所得者の所得を上げて、それを消費に回してもらって、経済を活性化していこうということですね。地方においては、公務員といったら比較



的安定した収入があつて、そしてかなりの消費をしてもらえる。いい意味で安定した消費者であるわけですが、減額になり、財布のひもが固くなつて地方の景気に悪い影響を及ぼすかもしれないという心配の声もあります。

○国務大臣(新藤義孝君)

今回の一時的な給与削減ができるだけ地域経済に影響を及ぼさないようにしながらはいけないということがあります。その上で、この給与の削減に見合った額については地域経済に使っていただけるような、工夫をさせていただいておりまして、その中から地域の活性化がもたらされると期待をしております。

○二之湯智君

大臣は、3月19日の衆議院の総務委員会委員の質問に答えて、地方議員の報酬削減について、「そのまの運営に責任を持つ議会が、自らのまの状況を考え対応するものと思つている」と事実上、自主的な引き下げを求めたと新聞記事にしましたが、大臣の真意をお伺いしたい。

○国務大臣(新藤義孝君)

その「事実上、自主的な引き下げを求めた。」とコメントしておりますが、地方議会の自主的判断でございますという事を申し上げておきます。

○二之湯智君

最後に、地方公務員給与費の臨時特例に対応して、今回、緊急に防災・減災事業に取り組むため、緊急防災・減災事業

費に10億円を計上されておりますが、補助制度の中で消防庁舎の建設に対しては補助制度がないんですね。これだけ防災あるいは減災だと、あるいは緊急にそういう対応をしなくてはならぬ時代に、地方自治体には消防庁舎の建設というのは荷が重い。地方団体から要望が多い建て替えに対する財政措置についてどう考えているか。

○国務大臣(新藤義孝君)

御指摘いただきましたように、現在は、消防署の建て替えについては、これは公用施設の整備でありまして、町役場等と同様に市町村がその財源で整備することが原則でございます。この消防防災施設整備費補助金の対象とするのはなかなか困難だと考えております。ただ、一方で、何か財政措置はないのかということ、これは検討してみたいと思つております。ちなみに、平成25年度は、消防署所の耐震化について、耐震改修に加えて、耐震性が十分でなく早急に耐震化を行う必要がある全部改築がやむを得ないと、認められるものにつきましては、これは新たに緊急防災・減災事業の対象にできないか、今検討をさせていただいております。

参議院総務委員会視察

参議院総務委員会は4月9日、日本郵政グループの大規模不動産事業として第1号のプロジェクトである「JPTタワー」

を視察した。JPTタワーは東京駅前にある東京中央郵便局の再整備計画として建設された。東京中央郵便局は191年に完成、今となつては優れた近代建築で、重要文化財に値すると市民団体などが保存運動を行つてきた。平成21年2月27日、当時の鳩山邦夫総務大臣は「文化や歴史を大切にする国でなければならぬ」と中央郵便局の再開発に異を唱えた。そのため旧局舎の多くの部分を保存し、跡地に地上38階の高層ビル「JPTタワー」を建設した。ビル内には多くの物販、飲食の店舗が入り、商業施設は郵便局にふさわしく「切手」をもじつて「KITTE」と命名された。東京の超一等地にあるJPTタワーは、テナントはほぼ満杯で、年間約100億円の収益を見込んでいる。3月21日にオープンした「KITTE」は立地の良さで、東京の newName の一つとして関心を呼び、1日に約8万人の人々が来館している。日本郵政では、今後各都市の一等地にある郵便局を再開発して、有効利用をする予定である。



屋上庭園6階「KITTEガーデン」総務委員会メンバー

参議院議員 西田昌司



景気回復に対する期待から、安倍内閣への高い支持率が続いています。しかし、現実には、参議院では依然として少数与党のままであり、不安定な政権運営を余儀無くされています。国民の期待にこたえるためには、今夏の参議院選挙勝利が必須条件です。私も全力で頑張る覚悟です。えとす読者の皆様方におかれましては、滋賀県選挙区の二之湯武史候補予定者共々、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

西田昌司 国政報告会2013

— 自民党時局講演会 —

伝えよう、美しい精神と自然  
— 日本の背骨を取り戻そう —

◇日時：平成25年5月24日(金) 18:00~20:00

◇会場：シルクホール(京都産業会館8F)

京都市下京区四条烏丸西入ル

(入場無料)

◎お申込・お問い合わせは 西田昌司事務所 075-661-6100 まで

後援会拡大に  
一層のご協力を

先月号で「二ノ湯たけし」の後援会拡大のお願いをいたしましたところ、多くの皆様より「滋賀県在住の方々」を紹介いただきました。有り難うございます。今月号に二ノ湯たけしの「自由民主号外」を同封させていただきます。厚かましいお願いで恐縮ですが、ぜひご覧下さり、後援会拡大に、さらに一層のご協力をお願い申し上げます。



京都府第2選挙区支部長  
自民党本部、上中氏を再任



昨年末の総選挙で、京都府においては6選挙区のうち、2区の上中康司氏のみが議席を獲得出来ず、残念な結果になった。そのために2区選挙区支部長不在の状態が続いていたが、上中氏が再度支部長として戦う意欲が強いこと、さらに2区内の府、市議員が一致結束して上中氏を支援することを申し合わせた。その結果、自民党京都府連は、2区選挙区支部長選任の申請書を党本部に提出していたが、党本部は京都府連の申請を了承、4月17日、上中康司氏を京都府第2選挙区支部長に選任した。先の総選挙では、民主党候補に3万票も引き離され、その惜敗率も58・22%であり、前途は非常に厳しい。上中氏には後がないという覚悟を持って、捲土重来を期してもらいたい。

身辺雑記

一、弱い犬ほどよく吠えるというが、今回の北朝鮮のミサイル発射の威嚇には困ったものである。何が目的なのか、その意図が分からない。実際の兵力は大し

たことはないが、核を持っているだけに厄介である。

一、参議院選挙の公認作業もほぼ終了。岩手県では、民主党の平野達男元復興大臣が党を離れ、無所属で出馬、自民党の推薦が欲しいという動きを見せたが、党本部は推薦をしない方針を決めた。当然の決定である。

一、福島原発で地下貯水槽から放射能汚染水が漏れていることがわかった。東電の杜撰な仕事ぶりには、腹が立つ。社長が頭を下げて済む問題ではない。国民は原発に非常に神経質になっている。こんなことでは再稼働は難しい。

一、安倍内閣の誕生、そして黒田日銀総裁の就任で、円は100円、日経平均は1万4千円近くまで上昇した。世間は何となく明るいまうになりつつある。この勢いを継続させ、名実共に経済再生につなげていかなければならない。

一、ボストンマラソンと言えば、100年以上の歴史を持つ古い大会である。日本人選手も過去8回優勝し、日本人には非常に馴染み深いマラソン大会である。そこで爆発によって、多くの死者、負傷者が出た。ひどいことをするものだ。

一、長嶋茂雄(77)と松井秀喜(38)両氏に国民栄誉賞が授与されることが決まった。立教大学時代の長嶋選手の活躍を度々テレビで見たが、華麗なプレイはいまだに喉に焼き付いている。たいした選手であった。

一、三重の小学校の同窓会に出席した。女性の一人から「二ノ湯さん、娘さん二ノに務めておられる？」と尋ねられた。「うん」と答えると「息子が同じ会社にいるの」と言われた。世界は広いようであつた。

「日本真生塾」第31回・第32回例会のお知らせ

平成25年5月27日(月) 18時～21時

平成25年6月24日(月) 18時～20時

場所：龍谷大学アバンティ響都ホール(京都駅八条口前アバンティ9F)

★今後のテーマは「戦後の日本」について進めてまいります。

<お問い合わせは事務局へ>(担当：近藤)

TEL：050-7544-4018 メール：nihonseinseijuku@yahoo.co.jp

内容・年会費など詳しくはホームページをご覧ください。日本真生塾で検索。

日本真生塾 塾長 岡本幸治

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は  
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、  
ぜひお申し込み下さい

年間購読料 1200円

郵便振替口座 01000-4-62360

口座名：みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —

二ノ湯さとし事務所

電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました  
<http://www.ninoyusatoshi.com>